

2025年8月25日

株式会社 千葉銀行

## 日本畜産振興株式会社向け「ちばぎんリーダーズローンNEXT」の取組みについて

千葉銀行(頭取 米本 努)は、日本畜産振興株式会社(代表取締役 安藤 貴子、本社:茨城県取手市)に対して、「ちばぎんリーダーズローンNEXT(目標連動型)」を取り組みましたのでお知らせします。

「ちばぎんリーダーズローンNEXT(目標連動型)」は、サステナビリティ経営を積極的に実践しようとする事業者さまが、事業規模や経営実態に合わせて有効な目標等を設定する融資制度です。

貸出先の日本畜産振興株式会社は、「取手食肉センター」を運営する食肉加工事業者です。同センターは、1日あたり豚1,200頭を処理する能力を備え、高い衛生管理のもとで、枝肉・部分肉への加工などを手掛けており、新鮮な食肉を安定的に供給しています。フィリピン産バナナを用いた独自の飼料を開発し、地域の養豚事業者とともに生産する豚肉は、さっぱりとして臭みがなく、食感の良さと柔らかい肉質に特徴があります。1966年の設立以来積み上げた豊富な実績から、取引先からの信頼が厚く、食品メーカーや大手食肉卸売事業者と取引関係を構築するなど、強固な事業基盤を確立しています。

今回、自社の事業活動における売上高1億円当たりの二酸化炭素排出量の削減目標を策定しました。目標達成時には当行が金利を優遇することで、お客さまの目標達成に向けた動機付けを行い、お客さまのサステナビリティ経営を後押しします。

当行は今後もグループ一体となって、サステナブル・ファイナンスを提供することで、お客さまや地域社会のパートナーとして、社会・環境問題の解決に資する取組みを一層推進し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

### 【案件概要】

貸出先	日本畜産振興株式会社	資金使途	運転資金
契約締結月	2025年7月	融資金額	100百万円
融資形態	証書貸付	第三者評価機関	株式会社ちばぎん総合研究所

### 【本件の年度別目標について】

設定内容	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
売上高1億円当たりの二酸化炭素排出量 (t-CO2/億円)	18.998	18.456	17.913	17.371
(参考) 2023年度比削減率*	▲5.4%	▲8.1%	▲10.8%	▲13.5%

※ 2023年度(2023年7月~2024年6月)の売上高1億円当たりの二酸化炭素排出量実績  
20.082 (t-CO2/億円)

以上